

電子基準点について



電子基準点は、GPSに代表される測位衛星(GNSS)の電波を受信する施設で、全国1,240箇所に設置されています。観測データはリアルタイムで国土地理院の中央局に集められ、毎日、電子基準点間の位置関係がミリメートル精度で求められ、地殻変動の監視に利用されています。

観測データはインターネットを通じて公開され、GNSSを用いた測量の基準点として利用されています。また民間事業者を通じてリアルタイムデータも提供されており、位置情報サービスに利用されています。

現在、GPSだけでなく、準天頂衛星やグロナス、ガリレオ等のGNSSにも対応できるよう、電子基準点の観測機器や中央局のシステム更新を進めています。

